



長小だより

令和4年2月

二月



家庭、地域、学校が連携して コロナ禍を乗り越える

愛知県に蔓延防止等重点措置が適用されて、2週間余りが過ぎました。先日、メール等でお知らせしましたとおり、かけ足記録会と学習発表会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から保護者の皆様の参観を見合わせる事になりました。今後の感染状況によっては、学習や諸行事をさらに縮小・中止することも念頭におきつつ、教育活動を進めて参ります。毎日の検温等、子どもたちの健康管理と合わせて、ご理解とご協力をお願いします。



さて、2月3日は「節分」です。節分とは、「鬼を追い払って新年を迎える、立春の前日の行事」です。二十四節気は、太陽の周りをまわる地球が軌道上のどの地点を、いつ通過するかによって決まり、今年の立春は2月4日、そのため前日の3日が節分になります。ちなみに昨年の節分は立春が2月3日で、その前日の2月2日でした。2月2日が節分になったのは、明治30年（1897年）以来、実に124年ぶりと聞き、宇宙や天体への畏敬の念を感じます。また、節分が2月3日でなかったのは、38年前の昭和59年（1984年）2月4日以来ということだそうです。

このように世の中の出来事は、様々なものと関わり合って成り立っていることを改めて実感しました。このことは、家庭、地域、学校と連携やそれに関わる人との関係にも当てはまるのではないのでしょうか。学校と関わり、支えてくださっている家庭や地域の方々とはふれあいやつながりをより一層深め、常に一期一会の気持ちを忘れずに接していくことが大切であると考えます。現在、私たちの周りは新型コロナウイルス感染症拡大のため、今までに経験したことのない状況になっています。このようなときだからこそ、家庭、地域、学校が連携し、人と人とのふれあいやつながりを今まで以上に大切にすることが、現状の困難を乗り越えていくための一番の方策であると考えます。

(文責 校長 森田浩基)

4年そろばん教室



1月17日（月）に講師の先生をお迎えして、4年生のそろばん教室を行いました。学校では算数の授業で、3年生・4年生時にそろばんを学習します。そろばんによる数の表し方や、簡単な計算ができることを目標としています。



児童は講師の先生の話聞きながら、珠をはじいていましたが、途中で混乱する児童もいて苦戦している様子でした。上手になるこつは「素直な心」だそうです。

6年和太鼓体験



1月20日（木）は6年生が和太鼓体験を行いました。体育館中に響く太鼓の音を楽しみながら、講師の先生の笛に合わせて、児童は夢中になって演奏していました。6年生は覚えも良く、リズムに乗って華麗なバチさばきを披露していました。



2月3日 節分

2月3日の節分には1年生の教室に鬼が現れました。児童の「鬼は外！」の声に、鬼は退散。コロナも退散してほしいと思います。